

平税務署

税額定額は十二億二千万

田たうだが、このうち更に

正送定で多過ぎた税金一

千八百三十五万六千四百

減で、このほか還納金を多く納

めることになり、今年は八月か

ら着手して二ヵ所改修、残りの

八ヵ所も明年度に改良するほか

二百五十両の電車を収容するた

が可能である。発生額は源

の利潤、つまり還付金が日々

三錢で一千九百一十円のままで

これは年割九分五厘となるので

銀行定期の利潤年六分、投資信託

の一割一分をはるかに上回る高利

率なので、毎年税金を多く納めて

利潤した方が有利だといつてわれる

税金を国税と間違えて納税

したものなどがある。発生額は源

の利潤、つまり還付金としてそれが

納付書に記載された。これが「人當

税金得税一千四百九十一万六千八百

九十二円(二千二百一十三件)申告所

所得税五百七十九万九千七百九

八円(十五件)二千三百三十六円(四

件)合計一千八百三十五万六千四百

九十九万一千円が加算されて

万四千六百四円(五十一件)

## 国税は多く納めた方が得か 還付金は千八百万円

利息、年一割九分五厘

常磐線の電化計画など発表

水野水鉄局長が平R.C席上で

## 常磐線の電化計画など発表

水野水鉄局長が平R.C席上で

## 福島直通の準急ルジーゼを運転

仙台や上野間に一本増発

10月ダイヤ改正

# いわき民報

行町3番地  
平市いわき民報社  
社長 郷沢武蔵  
電話(代表)4161番  
© いわき民報社 1959

## 農繁期に入つて注文殺到 カツオの罐詰製造嬉しい悲鳴

磐城市漁水試では小名浜港に大量に水揚げされているカツオの味付

所草野務 坂本連長なら平市内の職能別代表が有り

と加入しており、国鉄の計画について相談ついた質問

もあった。十月の新ダイヤには各列車のスピードアップが

計画され、上野-平間に五分短縮 上野-仙台間十五分、

上野-青森間の特急が三十分短縮される。

大きな希望を伝えた。平R.Cに諸橋会長出席し、国鉄の電化計画

特に常磐線の電化計画を始め、平-福島間のジーザルカ

准急 平-仙台間のジーザルカ-準急運転 平-上野間の

准急 往復増発、常磐線電化に伴う平駅を民駅とする大

改装などについて次のように構想を説表し、平R.C会員に

改表がなされた。平R.Cに諸橋会長出席し、国鉄の電化計画

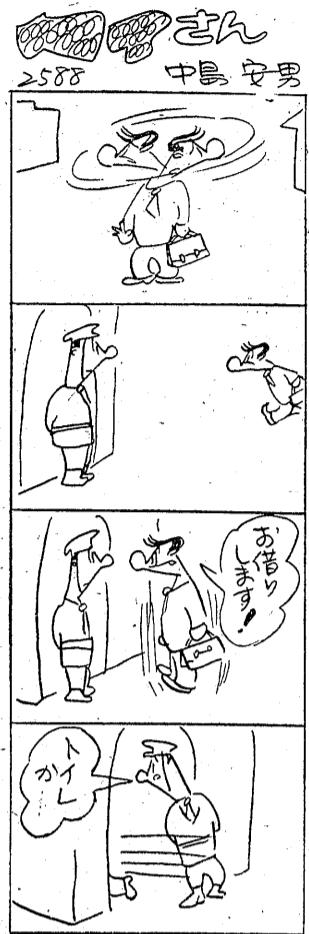
特に常磐線の電化計画を始め、平-福島間のジーザルカ

准急 平-仙台間のジーザルカ-準急運転 平-上野間の

准急 往復増発、常磐線電化に伴う平駅を民駅とする大

改装などについて次のように構想を説表し、平R.C会員に





衣料販売に被害者続出

【写真は売りつけられた古物】

パンカチ一枚一千円といふ誰でもが飛びつき、その安値で善良な奥さ

ん連中をダメし、インチキの品物

を市価の数倍で売りつけて歩き回

る。この声が高い。

五日の新聞折込みのチラシで、平

市胡屋沢で開かれていた移動販売

会場の席上、同僚PTAや商友会

員から話が出たもので、四日

校舎の新築落成式などという事にな

り、今月中に役員会を開いて平商

新築成同盟会を結成、具体案を

審議会長、松崎校長ら曰名が、平商

ねることになったもの。平商会

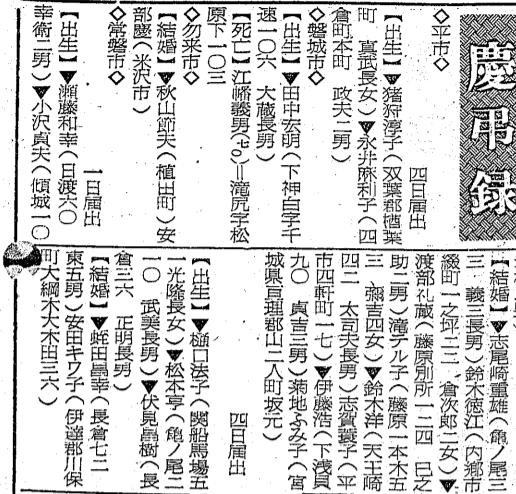
行きが注目されている。

平商高等学校では校舎の老朽化から総費五千万円を投じて鉄筋コンクリート三階建ての廃下随一の近代の大校舎に改築工事を進めており、今月中に役員会を開き期成同盟会を結成して、その具体案を検討、準備が進められている。

この新築問題は本年正月の名刺交換の席上、同僚PTAや商友会員から話が出たもので、四日校舎の新築落成式などという事になど、二時、間に合せに建たため建築も乱造だったので本建築の立派な学校にしちうというもので成

塔が八月復旧された。

塔が八月復旧され、



## 平三小

毎月患者に花束贈る  
四年五組の良い子たち

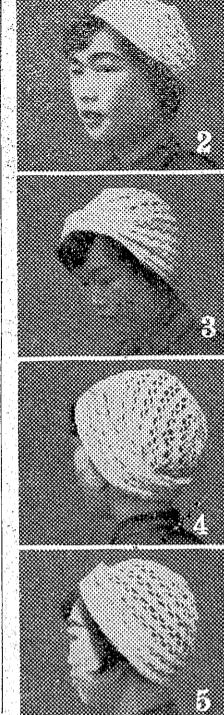
毎月初めに市内松谷病院に美しい花束を贈っていることが患者からの評判で明るみで、児童や病院から感謝の手紙を送り、感謝されており、花束を贈っているのは同校。

病院で治療中の患者さんへ、花束を贈りしもと、平三小四年五組の児童三十五名は五月一日から毎月初めに市内松谷病院に美しい花束を贈っていることが患者からの評判で明るみで、児童や病院から感謝の手紙を送り、感謝されており、花束を贈っているのは同校。

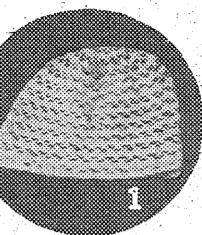
## 毎月患者に花束贈る

四年五組の良い子たち

毎月初めに市内松谷病院に美しい花束を贈っていることが患者からの評判で明るみで、児童や病院から感謝の手紙を送り、感謝されており、花束を贈っているのは同校。



婦人帽をかぶる人が年を追って増えていますが、この夏に入気をさらつている婦人帽が写真の「七曜ハット」。つまり一つの帽子を様々に変えて毎日違った帽子をかぶっているように見える七色ハットとでもいうか、原形は写真①のような姿勢もないバケツを逆にしたようなナナダの編織だが、帽子の中にまき込んだり、後だけをしづつたり、前をハネ上げたりしてクラシックスポーティと千变万化。中年向にもジニア向にも手加減一つで自由に変った帽子を楽しめる。値段も四百円~五百円と手ごろなところでは、色は白、淡いサックス、ピンクなど。今日はベレー明日はターパン、日曜はトーカ型に、自分で考案するのもまた楽しいもの。



## 千变自在な七曜ハット

【写真①は原型②ベレー③ターパン④トーカ型⑤ジュニア型】

## 青柿会句抄

六月一日例会・素席

茂堂

渡辺何鳴選

蟬子

いわき俳壇

草木

河野

青柿会句抄

茂堂

渡辺何鳴選

蟬子

いわき俳壇

草木

河野